

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	弘益大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	文化大学英語英文学科		
報告書提出日	2019年3月8日		
留学予定期間	2019年2月～2019年6月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 0 (円) /合計
 航空券代： 32,230 (円) /合計
 ビザ申請関連費： 16,000 (円) /合計
 その他（寮費）： 1,319,000 (ウォン) /合計
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

12月中旬～末

・大学から留学許可証が届き VISA を申請。弘益大学への短期交換留学の場合は残高証明は必要なし(大学または留学制度によって変わるため領事館に問い合わせた方がよい)。韓国の VISA 発行料は無料で3～4日で発行される。(上記ビザ申請関連費の¥16,000は10年用パスポート発行料)

・VISA 受け取り前に航空券も予約。出発時期が学校の長期休暇とかぶる場合は早めに予約したほうが良いかと思う。

1月

・派遣先大学から入寮希望書等の資料をメールにて受け取り・返送。

2月

・派遣先大学の担当学生から連絡が来る。弘益大学では1留学生につき1人ずつバディーと呼ばれる学生サポーターがついて身の回りのことを助けてくれる。出発前から連絡が取れるので安心。

*困ったこと

・ビザも入学手続きも申請自体に難しいことはなかったが、書類や連絡が来るのがゆったりめで受け取る側としては少し焦った。

・航空券の購入は VISA 受け取り後が確実によいと言われていたが、行く国や時期によっては早めに申しこまないとかかなり高額なチケットしか残っていないようだった。

1.2. 渡航について

2/23

宮崎から格安航空の直行便で仁川空港に向かった。

数回来たことがある国だったため迎えは頼まず、空港から大学最寄の「弘大入口駅」まで地下鉄で移動した。所要時間約 50 分、交通費 410 円。入寮日は翌日だったためこの日は近くのホステルに滞在した。

2/24

ホステルから大学寮まで徒歩で移動。寮は校内にあるが正門から入ると徒歩で 10~15 分かかる。正門までの最寄駅は弘大入口駅、学生寮までの最寄駅は上水駅だということが分かった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

* 渡航前の手続き

2 月ごろ入寮申請書をメールで受け取り、期限までに返送する。2 人 1 部屋のため何か希望があれば（日本人同士がよい、そうじゃないほうがよい等）こちらに記入。

* 渡航後

寮 1 階の事務室にて受付後カードキーと書類を受け取る。翌日のオリエンテーションにて誓約書を記入・提出。入寮期間は 1 週間ほどあるため初日に全員が入寮してくる訳ではなかった。

寮費は 1 学期分を 1 括現金払いのみ。入寮から約 1 週間以内に銀行で振り込む必要がある。事前に金額はメールで知らされ、その金額以外に追加で請求されることはなかった。

* 注意点

寮費は入寮月にまとめて支払いのため、月々の奨学金を充てることはできない。弘益大学の場合は 1 学期分 14 万円程度。事前の準備が必要である。

地下 2 階にランドリールームがあるが、洗濯・乾燥ともに有料（洗濯 1 回 W1000、乾燥 1 回 W1000）。ランドリー専用カードを作る必要があるため、初めて使う際は現金を持っていくのを忘れずに。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人登録は、入寮日翌日のオリエンテーションでまとめて申請してくれるため事前に用意する書類はない。申請時に必要な健康診断（TB テストとよばれるもの。レントゲンと注射だけ）のみ、オリエンテーション後に自分で行く必要がある。

* 金額

外国人登録証の申請に W30000、TB テストの結果書類に W6700 程度現金が必要。

* TB テスト

学校から 20 分ほど離れたところにある保健所にて受検。テスト自体は簡単ですぐに終わるが、保健所の職員が韓国語しか話さないようだったため、書類記入や会話に不安がある場合はバディーか友人と一緒にいったほうがよいと思う。

* 申請期間

2 月 25 日ごろ書類を作成し 3 月 8 日現時点でまだ受け取れていない。2~3 週間ほどかかるとのこと。登録証ができたならメールで通知がくるため、TB テストを受けて書類さえ提出すればこちらの手続きとしては完了。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

2/25 オリエンテーション

学内施設や学生生活について 2 時間ほど簡単な説明を受ける。ここで外国人登録証申請用紙・入寮誓約書・図書館利用カード申請書等を記入し提出。

※証明写真が 2~3 枚必要になるため、指定サイズのを日本から持っていくことをおすすめする。韓国にも写真機はあるが W10000 と若干高い。

語学堂に通わないためプレイスメントテストはなし

2/26・2/27 TB テスト

指定された保健所にて受検後、領収書を弘益大学国際センターに提出。結果は学校が受領しそのまま外国人登録証申請をしてくれる。

2/24 ~2/26 履修登録期間

一般学生は学年ごとに上記日程内で申請日が決まっているよう。登録方法は神奈川大学とほぼ同じだが、先着順でクラスが埋まっていくため、現地に到着したらシラバスをよく読み候補を決めておくとうい。

※交換留学生に関してはネット上で申請しなくてもオリエンテーション時に受け取る申請用紙を作成すれば受講できるらしいが、授業によっては担当教授が受け入れない場合もあるため申請方法をバディや国際センターのスタッフに確認したほうがよい。

3/4 授業開始

あらかじめ決めた授業に参加する。3/8 までは履修変更可能期間のためイントロダクションのみで終わる授業が多い。専攻科目に関してはこの週から通常授業が始まるものもある。

3/4~3/8 履修最終登録期間

実際に受けてみて再度履修を変更できる。すでに定員に達している授業は申請できないが、1 回目の授業後空きが出たり変動があるため受けたかった授業がある場合はチェックしておくとうい。

~3/8 履修登録用紙提出

交換留学生はこの日の 17:00 までに履修登録申請用紙を国際センターに提出する必要がある。私はバディの子が教えてくれたため先にネット上で申請したが、どうやら留学生の分はこの用紙を提出すれば国際センターの方が代わりに申請してくれるようである。

3/11~3/13 寮オリエンテーション

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国までに TOEIC850 点以上、TOPIK6 級取得を目指し学習する。これまで資格試験のために対策勉強をしたことがほとんどないため、この留学期間中は集中的に勉強する時間を取りたい。相部屋が韓国語を話せないメキシコの子であるため、部屋では英語・外では韓国語を話して両言語のスピーキング力を高めたい。芸術・デザイン方面に関心が高いため、空き時間は美術館を訪れたり読書もたくさんしたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

一昨年のワーキングホリデーで英語・韓国語ともに生活できる程度には語学力をつけていた。授業になると使う単語が専門的になってくるため、その都度調べて語彙力を増やしていきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

2 言語（英語・韓国語）を同時に使うことに疲れているため、とにかく早めに耳だけは慣らしたい。また、話せば話すほど使えるようになることは自身で実証済みであるから、毎日小さいことでも会話をするように心がけている。

4. 学修について

4.1. 授業時間割（各曜日の欄には履修科目と時間を記入）

現在の学期	前学期
月	Intermediate Practical English (9:00-10:50) Understanding Popular Art (11:00-12:50) English Grammar (15:00-15:50)
火	Fashion&Image Making (10:00-12:50) Understanding Practical Broadcasting (14:00-16:50)
水	American Culture (11:00-12:50) English Grammar (14:00-15:50)
木	
金	
土	
日	

4.2. 授業について

①Intermediate Practical English（50分/1コマ、週2コマ）

TOEIC 試験対策クラス 人数: 20名（実際には12人ほどだった） 使用言語: 英語

評価方法: 中間・期末テスト+2回の課題提出+出席

留学生は私のみであった。神奈川大学のネイティブ教授の授業とほとんど変わらない。毎授業で TOEIC 対策本の問題を解いていく。

②Understanding Popular Art（50分/1コマ、週2コマ）

講義式・芸術系のクラス 人数: 50名（実30名ほど） 使用言語: 英語

評価方法: 中間・期末テスト+出席

留学生がほかにも数名いたが大半は現地学部生。シラバスと内容を変更し、ソーシャルメディア関連の授業になるとのこと。

③English Grammar（50分/1コマ、週3コマ）

講義式・英文法のクラス 人数: 50名 使用言語: 韓国語

評価方法: 中間2回・期末テスト+出席

英語英文学科の専攻授業。留学生はおそらく私のみ。授業名は英文法だが、内容的には英語学の要素も入っていると感じた。

④American Culture (50分/1コマ、週2コマ)

講義+ディスカッション・アメリカ文化のクラス 人数: 20名 (実10名ほど)

使用言語: 英語+韓国語 評価方法: 中間・期末テスト+課題+出席

9割現地学部生、外国人は私のほかに1人正規学生でシンガポールの子がいた。多文化と比較しながらアメリカ文化を読み解くといった内容。ほとんどが英語で行われ、理解できない現地学生のために韓国語でも解説すること。

⑤Understanding Practical Broadcasting (50分/1コマ、週3コマ)

講義式・放送系のクラス 人数: 60名 使用言語: 英語+韓国語

評価方法: 中間・期末テスト+出席

初週の授業に参加できなかったため詳細不明であるが、放送業界に興味がある人にぜひ受講してほしいとシラバスにあった。授業に対する学生からの評価も高いようだ。

⑥Fashion&Image Making (50分/1コマ、週3コマ)

サイバー(ネット上で授業が行われる)クラス 人数: 600名 使用言語: 韓国語

評価方法: 中間・期末テスト+出席

サイバーといって週に1回ネット上で講義を受ける。期限までに受講すれば曜日の指定はない。まだ身受講のため詳細は不明だが、ファッション系に興味があり有名な教授だったため選択した。また、何回でも観れるため韓国語の授業でも理解するのに自分で時間が費やせるのもいい点だと思う。

4.3. 予習・復習・自習について

①毎授業でTOEIC参考書の問題を解いていくようで、とくに予習は必要なさそうである。試験対策として間違った問題を復習するのがよさそう。

②毎回課題が出るらしいが、まだ使用書ができていないため難易度が分からない。教授がなんでも気軽にメールしてくれとのことだったため、不明点はすぐ聞けそうである。

③一緒に受講する友人は大変だと言っていたが初回の授業を受けた感じ、内容はそこまで難しくなかった。私にとって大変だった部分は「英文法を韓国語で習う」という点で、復習は主に韓国語の専門用語を覚えることになるのではないかと思う。

④とくに指定はなかったが、少人数の授業であるため事前に該当箇所を予習し英語もしくは韓国語で答えられるよう準備が必要だと思う。

⑤初回授業を受けられなかったため予習復習については詳しく分からない。

⑥サイバー授業のため予習は必要ないと思う。主に韓国語の専門用語復習に時間がかかりそう。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮(その他:)
----	------------

・とにかくミセモンジ (pm2.5) がひどい。ほとんどの人が専用マスクをつけているほどで、私も肌が異常に乾燥したり目が痛いといった症状が出ている。ひどいときはマスクをつけるようにし、同じく肌荒れに悩んでいる方がおすすめしていた保湿クリームを購入した。日本で使っていた病院処方保湿クリームですら効かないほど乾燥具合がひどい。

・いまだにロングベンチコートを着ている人がいるくらい寒い日もある。寒さは予想していたこともあり慣れてきたが、昼夜の寒暖差に注意して体調を崩さないようにしたい。

・寮が 23 階までであるためエレベータが止まるのに予想以上に時間がかかる。時間に余裕を持って行動するよう心がけたい。

5.2. 課外活動について

ワーキングホリデーのときに知り合った韓国人の友人が数名いるため、休日はその子たちや学校の子と出かけることが多い。語学習得のためにもできるだけ人と交流したいと思っているが、日本にいる間アルバイトと学校でほとんど自由時間がなかったため、芸術鑑賞や読書など自分の趣味の時間も大切にしたい。

5.3. 現在までの感想

時差もなく気候も似ているため、生活面での慣れは早かった。今一番大変なのは英語と韓国語の 2 言語を同時に使用しなくてはいけない点で、慣れないことをしているせいか毎日かなり頭を使っているようだ。また、これまで 1 人暮らしで 1 人で生活していた期間が長い分、他人と同じ部屋で暮らすのも次第に疲れてくるのではないかと予想している。性格上の相性は悪くないと思うが、図書館やカフェなど疲れたときに 1 人でいられる場所を早めに見つけておきたい。

授業に関して、講義を受けること自体は予想より問題なさそうであったが、自分の意見を他言語で伝えるという点でまだ足りない部分が多い。周りの学生に習いながら少しずつ習得していきたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (4月)

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	弘益大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	文学部・英語英文学科		
報告書提出日	2019年5月2日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国までに TOEIC850 点以上、TOPIK6 級取得を目指し学習する。これまで資格試験のために対策勉強をしたことがほとんどないため、この留学期間中は集中的に勉強する時間を取る。芸術・デザイン方面に関心が高いため、空き時間は美術館を訪れたり読書もたくさんしたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月末に中間テストがあったこともあり、大学生になって 1 番勉強したのではないかと思うほど勉強した。スピーキングに関して、学校が週 5 であるわけではなくルームメイトも韓国人ではないため思ったより話す機会が少ないことに気づいた。それ以降、友人といるときは意識してたくさん話すようにしたからか「来たばかりのころより伸びてきている」と言われた。英語に関しては、ルームメイトがあまり話すタイプではないので、ドラマを見たり課題をしながら派生して単語を覚えたり、別の方法でトライしているところである。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月の 2 週目にまた 1 つテストがあるため、前回の中間テストより 5 点以上高い点数を取れるよう勉強する。友人に「そろそろ韓国語の小説を読んでみてもいいのではないかと提案されたため、期末テストが始まるまでに何か 1 冊読みたい。韓国語・英語の動画（ジャンルや長さは関係なく）を毎日 1 本ずつ観る。

2. 学修について

2.1. 授業について

①Intermediate Practical English (50 分/1 コマ、週 2 コマ)

TOEIC 試験対策クラス

授業スピードはちょうどよいかゆっくりめで、受講人数も少ないため理解しやすい。中間テストの出題内容は TOEIC リスニング 50 問+授業内で学んだフレーズに関する問題 20 問程度だった。

②Understanding Popular Art (50 分/1 コマ、週 2 コマ)

講義式・芸術系のクラス 人数: 60名 使用言語: 英語

前回受講生のほとんどが現地学部生と書いたが、どうやら韓国人と正規留学の中国人が半々＋交換留学生 10名弱のようである。教授的にはディスカッションを多く取り入れたいようだが、生徒が本当に何も話さないためほぼ講義形式で、アートに関する動画を観ることが多い。中間テストは正式なテストではなく、授業外の時間に簡単なクイズ 20問と授業内で自分の考えを述べるような記述式の問題が 30問ほど出た。

③English Grammar (50分/1コマ、週3コマ)

講義式・英文法のクラス 人数: 60名 使用言語: 韓国語

内容的には1年生のときに習った英文法であるが、専門用語等も全て韓国語であることに加えて、日本で学んだことよりかなり深く掘り下げて話されるため思っていたより難しい。学期3回テストが行われるが、前回のテストは韓国人の友人が読んでも文章の意味がよく分からないほど難しい表現で出題されていたそう。問題数も多く、2時間みっちりかかった。

④American Culture (50分/1コマ、週2コマ)

教授が丁寧に説明し進めてくださるため理解がしやすい。12名ほどの少人数クラスで、クラスの大半は海外生活の経験があり英語のレベルがスピーキングに関してもかなり高い。中間テストは、選択問題と短い記述式の問題合わせて 50問ほどで、難易度・形式ともに神奈川大学で受けていたようなテストと似ていた。

⑤Understanding Practical Broadcasting (50分/1コマ、週3コマ)

教授が韓国の放送業界でPD・MCとして仕事をしている経験のある(現在もラジオ等されているそう)方で、科目名通り「実務」的な内容で毎回感動している。大学院はアメリカのハーバード大学を出られているため、英語のレベルもかなり高くスピードも早め・態度等にも厳しいが、それだけ受ける価値のある授業だと感じた。中間テストは選択問題 80%＋短い記述問題の構成だった。

⑥Fashion&Image Making (50分/1コマ、週3コマ)

サイバー(ネット上で授業が行われる)クラス 人数: 600名 使用言語: 韓国語

週に3コマ、1コマ20-30分程度の動画を観て自主学習するクラス。学期の前半はファッションの歴史を中心に学び、2週間前ほどから現代ファッション、色彩やデザイン等について学んでいる。専門用語がとにかく多いので難しいが、何度か観て調べながら勉強している。中間テストは穴埋め問題と選択問題が半々で韓国語で出題・回答。

2.2. 予習・復習・自習について

①ほぼ毎週課題が出るため、その課題が予習代わりである。特別難しいわけではないので復習はテスト前に見直す程度。

②毎週大量の予習用動画がアップロードされる。視聴必須ではないが、実際観てみたら普段自分が触れないような内容のもの(アート関連)も多く意外と面白くてよく観ている。「考える」ということが中心で正解のないような授業のため、復習は英単語を勉強するくらいである。

③予習はない。復習はその日にやった内容の問題を解いたり、授業内で聞いて分からなかった韓国語の表現を友人に聞いたりしている。学期内に3回テストがあるため、定期的に内容を見直したりして常に自習している。

④毎週課題が出るため、その問題を解く＋英単語・韓国語の表現を調べて予習している。復習はテスト前に全体を見直す程度。

⑤毎週課題や動画がアップロードされるためそれを解いたり観たりして予習・復習している。放送業界

に関する授業であり、「テレビをよく観て」と教授に言われているため、ニュース・バラエティ等時間があるときに **youtube** で観るようにしている。

⑥インターネット上で行われる授業であるため予習はしていない。復習は主に韓国語の専門用語調べで、個人的にとっても興味のあるジャンルであるため、ネット等で検索したり雑誌を読んだりして理解を深めている。

2.3. 語学力について

韓国語

当初こちらに来たときは「オーストラリアで一緒に住んでいたときよりレベルが落ちている」と言われてしまったが、つい先日「レベルが元に戻ってとくに最近は伸びてる気がする」と言ってもらえた。話せる機会があるときにできるだけなんでも話すように心がけたのが大きかったと思うし、テスト勉強をしている中で必然的に単語力が伸びたのだと思う。

英語

ルームメイトが外国人であるため韓国語・英語両方を伸ばせる環境でラッキーだと思っていたが、ルームメイトがかなり口数が少ないタイプであることに加え、英語が母国語ではないこともあり思ったより話す機会がない。聞き取りや文法に関しては授業で常に学んでいるため落ちていない、もしくは多少伸びているかと思うが、スピーキングに関してはかなり落ちた。ルームメイトに無理やり話しかけるのも疲れるため1日1本は何か動画を観て、いろんな表現方法を学ぼうとほかの方法にトライしているところである。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居*	学内寮（その他： ）
-----	------------

生活しながら予想外に1番悩んでいるのが食事である。そこまで食にこだわらないタイプで日本にいたころ家での食事はサラダ、納豆ごはん等簡単に済ませていたのだが、寮には台所がない（2階にはあるようだが19階に住んでいる+利用方法がなんとなく面倒くさい）ため何を食べたらいいか意外と悩む。冷蔵庫・電子レンジ・お湯は使用できるが、火や包丁は使えないため日本のインスタント味噌汁等持ってきた方がいいかと思う。自炊をしていた身としては、ほぼ毎日外食になるため食費がかさむのと胃が疲れる。

3.2. 課外活動について

よく散歩をする。友人と一緒にときはカフェに行ったりごはんを食べることが多い。1人のときは本屋さんや何かの展示、洋服屋さんをただ見て歩くことが多い。意識して会話をしなければ何も話さず過ごすこともできるため、それを防ぐためにほぼ毎日外に出て、会えるときは人と会うようにしている。

3.3. 現在までの感想

1番感じているのは、自分が思っていたよりも会話をする機会が少ないこと。私は元々現地に友人がいたためそれでも機会を作れるが、これから来る学生でとくに短期の場合は、積極的に話す機会を作るようにルームメイトや取る授業を考えた方がいいかもしれない。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	英語英文学科	4 年次
派遣先大学 (国)	弘益大学校 (韓国)			
所属プログラム・ 学部・研究科	文学部英語英文学科	履修言語	英語・韓国語	
留学期間	2019年2月～2019年6月			
報告書提出日	2019年6月27日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Spring Semester	3月4日 ～6月12日 (15週)	4月11日/ 4月22日 ～4月30日 / 6月10日 ～6月18日	留学生の履修登録の方法は2つ。1つはシラバスを読んでオンライン上で登録（登録期間内先着順）。このほか留学生の場合は、申請用紙に記入し国際センターに提出すると職員の方が代わりに登録を完了してくれる。いずれにせよ初週は履修登録の解除・変更可能。

1.2. 履修科目・内容

Spring Semester	Intermediate TOEIC	25時間	TOEIC 試験対策クラス 授業スピードはちょうどよいかゆっくりめで、受講人数も少ないため理解しやすかった。中間テストの出題内容は TOEIC リスニング 50問+授業内で学んだフレーズに関する問題 20 問程。期末テストの出題内容は TOEIC リーディング 50 問+授業内で学んだフレーズに関する問題 20 問程。
		50(分/回) × 2(回/週) × 15(週)	
	Understanding Popular Art	25時間	授業名は「大衆芸術の理解」だったが、今期は内容を変更することによってソーシャルメディアと人との関わりについてであった。授業は全て英語で行われ、主に動画を観て教授の解説を聞く、もしくは簡単なグループディスカッションが課された。中間テストは正式なテストではなく、授業外の時間に簡単なクイズ 20 問と授業内で自分の考えを述べるような
		50(分/回) × 2(回/週) × 15(週)	

			記述式の問題が 30 問ほど出た。期末テストは、授業内で学んだ内容に関して論述式の問題が 3 問。
	English Grammar	37.5 時間	内容的には 1 年生のときに習った英文法であるが、専門用語等も全て韓国語であることに加えて、日本で学んだことよりかなり深く掘り下げて学んだため思っていたより難しかった。学期中定期テストが 3 回、小テスト 2 回、提出課題が 2 回課され、なかなか盛りだくさんであった。初回のテストは韓国人の友人が読んでも文章の意味がよく分からないほど難しい表現で出題されていたようで、問題数も多く 2 時間みっちりかかった。2、3 度目の定期テストも同様の問題量・難易度で勉強してもなかなか点数が取れなかった。
		50(分/回) × 3(回/週) × 15(週)	
	Understanding Practical Broadcasting	37.5 時間	教授が韓国の放送業界で PD・MC として仕事をしていた経験のある（現在もラジオ等されているそう）方で、科目名通り「実務」的な内容であった。大学院はアメリカのハーバード大学を出られているため英語のレベルもかなり高く、スピードも早め・態度等にも厳しいが、それだけ受ける価値のある授業だと感じた。この授業を受けただけでも弘益大学校に留学に来てよかったと思ったほどだ。中間テストは全て英語で選択問題 80%+ 短い記述問題の構成だった。期末テストも全て英語、内容は中間テスト以前 30%・以後 70%で選択問題 80%+ 短い記述問題の構成だった。これに加え学期中ショートレポートの提出が 3 回、ほぼ毎週動画視聴もしくは英文記事のリーディング課題が課され、翌週の授業で課題の内容についてグループでディスカッションをするというスタイルだった。。
		50(分/回) × 3(回/週) × 15(週)	
	American Culture in English	25 時間	教授が丁寧に説明し進めてくださったため理解がしやすかった。12 名ほどの少人数クラスで、クラスの大半は海外生活の経験があり英語のレベルがかなり高かった。内容は神奈川県立大学の「アメリカ文化史」にあたるもので、授業はほぼ講義形式で行われた。毎時間教科書のリーディングをふられ、外国人受講生の私とシンガポール出身の子はそれぞれの国の政治についてよくコメントを求められた。学期中定期テストが 2 回とグループプレゼンテーションが 1 回あり、中間・期末テストともに選択問題と短い記述式の問題合わせて 50 問程度出題された。グループプレゼンテーションでは、授業内に鑑賞した映画について教授から与えられた問いを元に 2 チームに分かれて 10 分程度の発表をした。
		50(分/回) × 2(回/週) × 15(週)	

	Fashion &Image Making	22.5 時間	週に 3 コマ、1 コマ 30 分程度の動画を観て自主学習する授業。教授は韓国の有名なファッションデザイナーであった。学期の前半はファッションの歴史を中心に学び、後半は現代ファッション、色彩やデザイン、スタイリング等について学んだ。専門用語がとにかく多いため理解するのが大変だったが、動画という利点を生かして何度も観て勉強した。中間・期末テストともに穴埋め問題 50%+選択問題 50%で韓国語での出題・回答であった。普段使わない専門用語を答える必要があるため、綴りを覚えるのにも苦労した。
		30(分/回) × 3(回/週) × 15(週)	

1.3 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

それぞれの授業でほぼ毎回何らかの課題が課されるため、出された課題はその日のうちに片付けるようにした。英語で受ける授業は、英単語を調べることはもちろん同時に韓国語も調べていたため、現地学生の少なくとも 2 倍は予習復習に時間がかかっていたと思う。

1.4 語学力について

韓国語

当初こちらに来たときは「オーストラリアで一緒に住んでいたときよりレベルが落ちている」と友人に言われてしまったが、1、2 ヶ月過ぎたころから「レベルが元に戻って特に最近伸びていると思う」と言ってもらえた。話せる機会があるときにできるだけ何でも話すように心がけたのが大きかったと思う。また、定期テストに向けて大学史上 1 番勉強したのではないかと思うほど勉強をしたため、その過程で必然的にボキャブラリーも増えていったのだと思う。

英語

ルームメイトがメキシコ人であったため部屋では英語を伸ばせる環境でラッキーだと思っていたが、ルームメイトがかなり口数が少ないタイプであることに加え、英語が母国語ではないこともあり思ったより話す機会がなかった。聞き取りや文法に関しては授業で常に学んでいるため多少伸びているかと思うが、スピーキングに関してはかなり落ちてしまった気がする。1 日 1 本は何かしら動画を観て、いろんな表現方法を学ぼうとほかの方法にトライしたが期待していたほど伸ばせなかったと思う。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

まず韓国語に関しては、語彙力は増え話せる内容も増えたと思う。しかし、授業の予習復習で精一杯でハングル能力試験や TOPIK 等の語学試験対策に集中して取り組むことはできなかったため、帰国後すぐ試験対策に取り組み、できるだけ早いタイミングで受験したい。

英語に関しては、逆に授業内で TOEIC 対策ができた。帰国前の受験は難しかったため、こちらも帰国後受験しようと考えている。スピーキングに関しては思ったほど伸ばせなかったため、ひとまず帰国後のスピーキングテストに向けて対策をしたのち、何か方法を考えて引き続き取り組む必要がある。

学習面全体を通しては、現地学生の学習態度を目にして自分も同じように取り組んだ。「本当にみんなよく勉強するな」と感じたが、私が留学した大学はそれでも勉強しないほうだと聞いて衝撃を受けた。期末テストの際は1日1食しか食べることができないほど勉強量と睡眠不足でストレスを受けたが、個人的にはそれも留学期間のいい思い出である。授業は内容的に興味深いものも多く、知識を得る楽しさを感じた。自分の興味のある分野に限るが、以前よりも情報や記事に頻繁に目を通すようになった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

前述の通り、大学史上1番勉強したのではないかと思うほど勉強したため、英語のスピーキング力を伸ばせなかったことを除いては大きな反省点はない。

留学志望者へのアドバイスとしては、現地で学部所属して学びたいのであれば、留学前からできるだけ語学力を伸ばしておくことをおすすめする。日本の教材等で聞いていたような聞き取りやすい話し方をする方はほとんどおらず、使われる単語も専門的になるため、内容を理解する前に聞き取るだけで精一杯になる可能性がある。私が取った授業はほとんどが録音を許可しなかったため、1回の授業である程度理解する必要があった。志望者が何を目標にどれくらいのレベルに達したいかにもよるため、一概にこれくらい勉強すれば良いとは言えないが、私は、どんなに準備しても準備「しすぎ」ということはないなと強く感じた。

2.3. 留学生活で得られたもの

訪れたことのある国であったが、やはり生活をしたことで旅行では感じられなかった文化の違いや考え方の違いを知ることができとても面白かった。留学前の研修でそれぞれの国の傾向を学んだが、今回実際に海外で生活して思ったことは、国民性を知ることが大事だが逆にそれを気にしすぎるのもよくなさそうだという事だ。その国の中でも1人1人性格や考え方は違うため、その文化圏の特徴に縛られすぎずその人自身と向き合うことが大事だと思った。また、以前はお店での注文や電話をするのが苦手によく友人に頼んでいたが、留学期間中に何度かトライしているうちに克服した。

2.4 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

4ヶ月という短い滞在期間にも関わらず、体調を崩し病院に行くことになった。気温の寒暖差が激しかったこともあるが、テスト前で極端に睡眠不足であったことも理由の1つだったと思う。

また、個人的には食生活に関して予想以上に苦労した。学内寮には冷蔵庫・電子レンジ・ウォーターサーバーのみが設置され、火は使えずシンク等もないため基本的に調理ができない。必然的にほぼ毎食外食になってしまうため、いくら日本より安いとはいえ毎月の食費がかなりかさんだ。1回で出てくる量が多いため、私はよく残りを持ち帰って次の食事したり、デリバリーを注文した際はタッパーに分けて数回に分けて食べたりした。ルームメイトはベッドの寝心地が非常に悪く悩んでいた。お互いに短期であったため我慢できたが、長期で滞在するような場合は居住スタイル（寮・ホームステイ・アパート等）のメリット・デメリットをよく考慮して選択するのがよさそう。

交友関係について1つ強く感じたのは、人と知り合うのが思っていたより難しいという点だ。私の場合は学外に友人が数名おり、そのため私自身が新しい友人作りに積極的ではなかったのかもしれないが、寮内を見ていて、留学生も現地学生もそれぞれ同じ国同士で固まっているのをよく見かけた。1度グループができてしまうとなかなか途中参加するのは勇気がいるため、到着したばかり、学期が始まっ

たばかりの時期に、何かのコミュニティに入るなり声をかけるなり積極的に行動を取ったほうがよさそうだ。学部に所属し真剣に学習に取り組みたいという人は特に、テスト期間を1人で乗り越えるのはかなりしんどいため、同じ学部内に友人を見つけられると心強いと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月28日

所 属	外国語学部 () 研究科	英語英文学科・専攻	4 年次
派遣先大学	弘益大学校		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(2人1部屋のワンルーム、ルームメイトはメキシコ人)
3	入居時手続き	(学生寮1階のオフィスでカードキーを受け取る、寮費は後日学内銀行にて4カ月分一括振込)
4	費用(月額)	約1,400,000(ウォン)(食費含まない/月)
5	支払方法	オリエンテーション後3日以内一括現金振り込み
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 (トイレ・シャワーは部屋ごとに1つ)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(徒歩10分以内にスーパー、コンビニあり。駅やバス停も徒歩15分以内にいくつかある)
9	アクセス	(学内寮のため校舎によっては徒歩5分で着くが、寮内の学生数が多いためエレベーターの待機時間が予想以上にかかる)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(ルームメイトとの付き合い方→良くも悪くも自分とは異なる生活スタイルのため、決まり事を最初に決めたり、嫌なことは相手にうまく伝えられると過ごしやすいと思う)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入 日本で事前に現地SIMを予約し空港で受け取った。
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(日本で使用していた本体をSIMフリーに変更しそのまま使用)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	約 350,000 (ウォン) /月
2	食費	約 450,000 (ウォン) /月
3	交通費	約 40,000 (ウォン) /月
4	通信費	約 40,000 (ウォン) /月 (スマホ代)
5	娯楽費	約 100,000 (ウォン) /月
6	図書費	約 50,000 (ウォン) /合計
7	学用品 (教科書など)	約 100,000 (ウォン) /合計
8	被服費	約 400,000 (ウォン) /合計
9	医療費	0 (ウォン) /合計
10	雑費・その他	約 350,000 (ウォン) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	約 50,000 (ウォン) /合計
12	ビザ申請関連費	16,000 (円) /合計 (パスポート申請)
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	約 30,000 (円) /往復
14	その他	0 (ウォン) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	約 5,330,000 (ウォン) /合計
お金の持って行き方		
16	<input type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 (LINE pay)	
17	現地で銀行口座開設	してない

18	手続き方法・利点・欠点	外国人登録証がないと開設できない。登録証受け取りまでに2ヶ月半ほどかかったため開設しなかった。
19	お金に関するアドバイス	銀行開設に時間がかかり預けられないため最初に多額の現金を持っていくことはおすすめしない。 日本よりはるかにカード社会のため、クレジットカードを用意する際は海外でお得に使えるものを選択するとよいと思う。LINEpay を事前に登録しておく、現地で銀行口座を持っていなくても日本の銀行預金からウォンで引き出すことができるため安全で便利。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	L2 プラン (4か月分で 43,600 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	キャッシュレス その他（ ）
5	日本から持参の方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	薬は特にないが、生理用品は日本より高く、質が悪いため持参することをおすすめする

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 衣類、文房具、変換器
2	現地で購入したもの 衣類、消耗品（シャンプー、トイレットペーパー、生理用品、洗剤等）、ドライヤー、寝具
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの 寝具：日本から持っていくのは大変かと思うが、入寮初日から必要のためシーツくらいは持っていてもよかったかと思った。

VI. 留学先で困ったこと

サイバーというネット上の授業を取った際に、Mac は対応しておらずわざわざ学校のパソコン室に行かなくてはならなかった。そのほかにも Mac は何かと不便だったため、もし選択できる場合は Windows のほうが使いやすいかと思う。

ベランダがなく洗濯物には乾燥機を使っていたため服が痛みやすかった。あまり大事な服は持って行かず現地で安めの服を調達するか現地で着て捨てて帰れるようなものを持ってきた方がよいと思う。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

立地と綺麗さを考えるとこの費用で過ごせるのは学生寮のいい点であるが、キッチンがない・プライベートの空間がない点が個人的にはストレスになった。長期で滞在する場合は特に、事前にそれぞれの住居スタイルのメリット・デメリットを考え選択したほうが良いと思う。

また、料理ができない分予想以上に食費がかさむ。電子レンジ・お湯・冷蔵庫は使用できるため、日本からレトルトや乾燥食品をいくつか持っていくと楽かもしれない。韓国にももちろんあるがコンビニ食品もレトルト食品も日本ほどは充実していないため、長く生活しているうちに飽きてくる。